

[平成20年度設置]

長崎大学大学院教育学研究科 教職実践専攻（専門職学位課程）  
【教職大学院】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 長崎大学  
平成20年4月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 総務部企画課大学改革班 オキ タ ナツ キ  
沖 田 夏 樹

職名・氏名 教育学部総務係長 ノハラ カス ノリ  
野 原 和 則

電話番号 095-819-2152

F A X 095-819-2156

e-mail kaikaku@ml.nagasaki-u.ac.jp

## 目 次

1	調査対象大学院の概要等	P1
2	授業科目の概要	P8
3	施設・設備の整備状況	P13
4	既設大学等の状況	P14
5	教員組織の概要	P19
6	留意事項に対する履行状況等	P28
7	情報提供に関する事項	P31

# 教職大学院設置に係る設置計画履行状況報告書

## 1 調査対象大学院の概要等

### (1) 設置者

国立大学法人長崎大学

### (2) 大学名

長崎大学大学院

### (3) 大学院本部の位置

長崎県長崎市文教町1番14号

### (4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
学長	( サイトウ ヒロシ ) 齋藤 寛 (平成16年4月1日)		平成18年10月10日付けで任期満了となり、同年10月11日付けで再任となった。(次回任期満了年月日：平成20年10月10日)
研究科長	( ハシモト タテオ ) 橋本 健夫 (平成16年4月1日)	( ムラタ ヨシユキ ) 村田 義幸 (平成20年4月1日)	橋本健夫研究科長の任期満了(平成20年3月31日)に伴い、村田義幸教授が研究科長に就任した <sup>⑩</sup>

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) -① 調査対象研究科の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	認可時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
教育学研究科 教職実践専攻(P) 教職修士(専門職)	年 2	人 20	人 40	<p>[子ども理解・特別支援教育実践コース] 学級には多様な子どもたちが存在するようになっている。そして彼らは多くの心身の悩みを抱えている。この課題の解決に重点を置いたコースであり、一人ひとりの子どもたちを的確に把握し、適切な指導を行える高い能力を持った教員の育成を目的とする。</p> <p>[学校運営・授業実践開発コース] 効果的な授業を行うためには、活力のある学級が必要である。このような学級を作り出すノウハウを備えた、高い能力を持った教員の育成を行う。この能力は学校運営を円滑にするためにも必要である。従ってこの能力の獲得によってスクールリーダーとしての一つの大きな資質を持つことになる。このような教員の育成を目的とする。</p> <p>[理科・ICT教育実践コース] 科学技術創造立国を掲げる日本にとって、現在の子どもたちの「理科離れ」「理科嫌い」を改善していかなければならない。そのためには、子どもにとって楽しい理科授業を常に行うことができる高い能力を持った教員が必要となる。本コースではICT(情報機器)等も駆使して、理科好きな子どもたちを育てることができる教員の育成を目的とする。</p> <p>[国際理解・英語教育実践コース] 社会の国際化に伴って英語教育の重要性は増している。このため、英語教育はより低年齢の子どもたちを対象として行われることが予想される。これからの学校教育においては従来以上に幅広くかつ効果的な英語教育の実践が行われなければならない。本コースではこの目的を達成できる多様かつ子どもたちをひきつける英語教育を行うことができる実践能力の高い教員の育成を目的とする。</p>

(5) -②- (a) 調査対象研究科等の入学者の状況(概要)

(子ども理解・特別支援教育実践コース, 学校運営・授業実践開発コース, 理科・ICT教育実践コース, 国際理解・英語教育実践コース)

区 分	対象年度		平均入学定員 超過率	備 考
	平成20年度	平成21年度		
A 入学定員	20 人		1.20倍	コース毎の入学定員は設けていない。
志願者数	24			
受験者数	24			
合格者数	24			
B 入学者数	24			
入学定員超過率 B/A	1.20			

(5) -③- (a) 調査対象研究科等の在学者の状況 (概要)

(子ども理解・特別支援教育実践コース)

学年 \ 対象年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	8		
2年次			
計	8		

(学校運営・授業実践開発コース)

学年 \ 対象年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	7		
2年次			
計	7		

(理科・ICT教育実践コース)

学年 \ 対象年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	5		
2年次			
計	5		

(国際理解・英語教育実践コース)

学年 \ 対象年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	4		
2年次			
計	4		

(5) -②- (b) 調査対象研究科等の入学者の状況（学生の区分毎）

（子ども理解・特別支援教育実践コース：平成20年度入学者）

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考
現 職 教 員	長崎県 教育委員会	派遣制度			1		2	3
		修学休業制度						
		勤務継続						
		その他						
		小 計			1		2	3
	計	派遣制度			1		2	3
		修学休業制度						
		勤務継続						
		その他						
		小 計			1		2	3
学 部 新 卒 者	教員免許 の有無	有	2	2	1	1	2	教員免許無2名
		無					2	
		小 計	2	2	1	1	2	
合 計		2	2	2	1	4	8	

（学校運営授業実践開発コース：平成20年度入学者）

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考
現 職 教 員	長崎県 教育委員会	派遣制度		2				2
		修学休業制度						
		勤務継続						
		その他						
		小 計		2				2
	計	派遣制度		2				2
		修学休業制度						
		勤務継続						
		その他						
		小 計		2				2
学 部 新 卒 者	教員免許 の有無	有		3	4	4		5
		無						
		小 計		3	4	4		5
合 計			5	4	4		7	

(理科ICT教育実践コース：平成20年度入学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	長崎県 教育委員会	派遣制度			1		1		
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計			1		1		
	計	派遣制度			1				1
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計			1		1		
学 部 新 卒 者	教員免許 の有無	有	1	4	4		4		
		無							
		小 計	1	4	4		4		
合 計			1	5	4		5		

(国際理解・英語教育実践コース：平成20年度入学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	長崎県 教育委員会	派遣制度				1	1		
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計				1	1		
	計	派遣制度				1			1
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計				1	1		
学 部 新 卒 者	教員免許 の有無	有			1		1	教員免許無2名	
		無					2		
		小 計				1	3		
合 計					2		4		

(5) - ③ - (b) 調査対象研究科等の在学者の状況（学生の区分毎）

（子ども理解・特別支援教育実践コース：平成20年度入学者）

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	長崎県 教育委員会	派遣制度			1		2	3	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計			1		2	3	
	計	派遣制度			1		2	3	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計			1		2	3	
学部 新卒者	教員免許 の有無	有	2	2	1	1	2	3	教員免許無2名
		無						2	
		小 計	2	2	1	1	2	5	
合 計		2	2	2	1	4	8		

（学校運営授業実践開発コース：平成20年度入学者）

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	長崎県 教育委員会	派遣制度		2				2	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計		2				2	
	計	派遣制度		2				2	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計		2				2	
学部 新卒者	教員免許 の有無	有		3	4	4		5	
		無							
		小 計		3	4	4		5	
合 計			5	4	4		7		



(理科 ICT 教育実践コース：平成 20 年度入学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	長崎県 教育委員会	派遣制度			1		1		
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計			1		1		
	計	派遣制度			1			1	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計			1		1		
学 部 新 卒 者	教員免許 の有無	有		1	4	4	4		
		無							
		小 計		1	4	4	4		
合 計			1	5	4		5		

(国際理解・英語教育実践コース：平成 20 年度入学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	長崎県 教育委員会	派遣制度				1	1		
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計				1	1		
	計	派遣制度				1		1	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計				1	1		
学 部 新 卒 者	教員免許 の有無	有				1	1	教員免許無 2 名	
		無					2		
		小 計				1	3		
合 計					2		4		

## 2 授業科目の概要

### (1) 授業科目表

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数				授業形態			専任教員配置					備考			
		必修	選択	自由		講義	演習	実験実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通科目	① 教育課程の編成及び実施に関する領域																
	学習指導要領と教育課程Ⅰ	1・2	2			○			1								
	学習指導要領と教育課程Ⅱ	1・2		2		○			1								
	② 教科等の実践的な指導方法に関する領域																
	教科の指導と評価Ⅰ	1・2	2			○					1						
	教科の指導と評価Ⅱ	1・2		2		○					1						
	③ 生徒指導及び教育相談に関する領域																
	児童生徒の理解と指導Ⅰ	1・2	2			○			1								
	児童生徒の理解と指導Ⅱ	1・2		2		○			1								
	教育相談の理論と実際Ⅰ	1・2	2			○				1							
	教育相談の理論と実際Ⅱ	1・2		2		○				1							
	④ 学級経営及び学校経営に関する領域																
	教育の方法と評価Ⅰ	1・2	2			○				1							
	教育の方法と評価Ⅱ	1・2		2		○				1							
	複式学級の教育と実際	1・2	2			○			1								
	情報教育の研究と実際Ⅰ	1・2	2			○											
	情報教育の研究と実際Ⅱ	1・2		2		○											
学校の経営の実際	1・2	2			○												
学校の危機管理	1・2	2			○												
⑤ 学校教育と教員の在り方に関する領域																	
教員の資質と職務Ⅰ	1・2	2			○						2						
教員の資質と職務Ⅱ	1・2		2		○						1						
コース別選択科目	生徒指導・キャリア教育の方法Ⅰ	未開講 1・2		2		○											履修希望者がいなかったため㊟
	生徒指導・キャリア教育の方法Ⅱ	1・2		2		○											
	学校カウンセリングの実践法Ⅰ	1・2		2		○				1							担当予定者が病気療養中のため、専任教員を追加㊟ 担当（省略）（准教授） 平成20年8月 変更書提出予定
	学校カウンセリングの実践法Ⅱ	1・2		2		○					1						
	発達と学習の過程Ⅰ	1・2		2		○			1								担当予定者が病気療養中のため、専任教員1人で担当㊟ 担当（省略）（教授） 平成19年8月 教員審査済 判定可
発達と学習の過程Ⅱ	1・2		2		○			2 +								担当予定者が病気療養中のため、専任教員を追加㊟ 担当（省略）（教授） 平成20年8月 変更書提出予定	

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			授業形態			専任教員配置					備考	
		必修	選択	自由	講義	演習	実験実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
特別支援教育の基礎理論	1・2		2		○			1						
特別支援教育のシステム論	1・2		2		○			1						
特別支援教育の心理学	1・2		2		○				1					
発達障害児の理解と支援Ⅰ	1・2		1		○				1					
発達障害児の理解と支援Ⅱ	1・2		1		○				1					
特別支援教育の生理・病理学	1・2		2		○				1					
肢体不自由児の理解と支援	1・2		2		○				1					
病弱児の理解と支援	1・2		2		○									
重度重複障害児の理解と支援	1・2		2		○									
特別支援教育の教育課程・授業論	1・2		2		○				1					
特別支援学校・学級経営論	1・2		2		○				1					
特別支援教育コーディネーター論	1・2		2		○				1					
健康教育の理論と実践Ⅰ	1・2		2		○									
健康教育の理論と実践Ⅱ	1・2		2		○									
学級集団づくり・ソーシャルスキル教育の指導法Ⅰ	1・2		2		○			1						
学級集団づくり・ソーシャルスキル教育の指導法Ⅱ	1・2		2		○			1						
カリキュラムの理論と実践Ⅰ	1・2		2		○			1						
カリキュラムの理論と実践Ⅱ	1・2		2		○				1					
地域の特徴と教育の実際Ⅰ	1・2		2		○			1						
地域の特徴と教育の実際Ⅱ	1・2		2		○					1				
総合的な学習の編成と実践Ⅰ	1・2		2		○			1						
総合的な学習の編成と実践Ⅱ	1・2		2		○			1						
授業研究の理論と実践Ⅰ	1・2		2		○				1					
授業研究の理論と実践Ⅱ	1・2		2		○				1					
道徳教育の理論と実際Ⅰ	1・2		2		○									
道徳教育の理論と実際Ⅱ	1・2		2		○									
人権教育の理論と実際Ⅰ	1・2		2		○						1			
人権教育の理論と実際Ⅱ	1・2		2		○						1			
幼小をつなぐカリキュラム開発と実践Ⅰ	1・2		2		○									
幼小をつなぐカリキュラム開発と実践Ⅱ	1・2		2		○									
教育評価の方法研究Ⅰ	1・2		2		○						1			
教育評価の方法研究Ⅱ	1・2		2		○						1			
学級経営の理論と実際Ⅰ	1・2		2		○			1						
学級経営の理論と実際Ⅱ	1・2		2		○						1			
理科教育課程と指導計画	1・2		2		○			1						
理科授業研究A	1・2		2		○									
理科授業研究B	1・2		2		○			1						
理科教材開発A	1・2		2		○									
理科教材開発B	未開講 1・2		2		○									
理科指導法研究	1・2		2		○									
理科授業設計	1・2		2		○			1						

コース別選択科目

履修希望者がいなかったため㊟

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			授業形態			専任教員配置					備考	
		必修	選択	自由	講義	演習	実験実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
自然環境研究A	1・2		2		○									
自然環境研究B	1・2		2		○									
科学技術研究A	1・2		2		○									
科学技術研究B	1・2		2		○									
ICT活用実践Ⅰ	1・2		2		○				1					
ICT活用実践Ⅱ	1・2		2		○				1					
ICT活用実践応用	1・2		2		○									
情報科学研究	1・2		2		○									
教育情報処理研究	1・2		2		○									
認知情報科学研究	1・2		2		○									
インターネット技術研究	1・2		2		○									
理科学習における評価と実践	1・2		2		○				1					
教育に活かす「宇宙」	1・2		2		○				1					
英語科教育の実践と課題Ⅰ	1・2		2		○									
英語科教育の実践と課題Ⅱ	1・2		2		○									
英語学力評価の理論と方法・技術	1・2		2		○									
コミュニケーション・ランゲージ・ティーチングの基本と実践Ⅰ	1・2		2		○									
コミュニケーション・ランゲージ・ティーチングの基本と実践Ⅱ	1・2		2		○									
英語科教育論	1・2		2		○					1				
英語教育教材の分析と開発Ⅰ	1・2		2		○									
英語教育教材の分析と開発Ⅱ	1・2		2		○									
授業のための英語文化理解Ⅰ	1・2		2		○									
授業のための英語文化理解Ⅱ	1・2		2		○									
英語実践力を向上させるための読解方法Ⅰ	1・2		2		○									
英語実践力を向上させるための読解方法Ⅱ	1・2		2		○									
英文法指導のための実践研究Ⅰ	1・2		2		○									
英文法指導のための実践研究Ⅱ	1・2		2		○				1					
国際理解ワークショップⅠ	1・2		2		○									
国際理解ワークショップⅡ	1・2		2		○				1					
教育課程の編成・学習指導案作成実習Ⅰ	1・2		2				○	2	3	3				
教育課程の編成・学習指導案作成実習Ⅱ	1・2		2				○	2	3	3				
生活指導・教育相談実習Ⅰ	1・2		2				○	1	3	3				
生活指導・教育相談実習Ⅱ	1・2		2				○	1	3	3				
学校経営・学級経営実習Ⅰ	1・2		2				○	2	3	3				
学校経営・学級経営実習Ⅱ	1・2		2				○	2	3	3				
特別支援アセスメント事例研究 (基礎実習・発展実習)	1・2		2				○		2					

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			授業形態			専任教員配置					備考		
		必修	選択	自由	講義	演習	実験実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
実 習 科 目	学校教育実践実習Ⅰ (子ども理解・特別支援教育実践コース)	1・2	2				○	2							
	学校教育実践実習Ⅱ (子ども理解・特別支援教育実践コース)	1・2	2				○	2							
	学校教育実践実習Ⅰ (学校運営・授業実践開発コース)	1・2	2				○	2							
	学校教育実践実習Ⅱ (学校運営・授業実践開発コース)	1・2	2				○	2							
	学校教育実践実習Ⅰ (理科・ICT教育実践コース)	1・2	2				○	2							
	学校教育実践実習Ⅱ (理科・ICT教育実践コース)	1・2	2				○	2							
	アカデミック・ライティング・スキルの実践	1・2		2				○							
	学校教育実践実習Ⅰ (国際理解・英語教育実践コース)	1・2	2					○		1	1				
	学校教育実践実習Ⅱ (国際理解・英語教育実践コース)	1・2	2					○		1	1				

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
36	180	0	216					
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	共通・分野別・実習	必修・選択・自由	未開講の理由, 代替措置の有無
1	生徒指導・キャリア教育の方法Ⅰ	2	1・2	分野別	選択	一年次において履修希望者がいなかったため
2	理科教材開発B	2	1・2	分野別	選択	一年次において履修希望者がいなかったため

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	共通・分野別・実習	必修・選択・自由	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講となった2科目については、選択科目であり、学生の履修への影響はない。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.00$$

### 3 施設・設備の整備状況

区 分	認可時の計画	変更状況	備 考
<b>【施設】</b> 講義室・演習室 その他教室 （教育相談室） （ヒアリングルーム） 自習室 図書室 パソコン室 教員研究室	1室（25名収容）、1室（40名収容）  1室（5名収容）、1室（2名収容）  1室（8名収容）  1室（11名収容）  【学生1人当たりの専有面積3.4㎡】  座席数 976席  1室（24名収容、パソコン24台） 1室（50名収容、パソコン50台）  38室（1名収容、パソコン1台） 1室（9名収容、パソコン9台）		終日  8時40分～21時45分  8時50分～17時40分
<b>【設備】</b> 図書   その他設備 （教科書センター）	図書67,409冊【外国書9,350冊】  学術雑誌1,380種【外国雑誌514種】  視聴覚資料85点   主に小・中学校の教科書を配置	図書64,765冊【外国書9,072冊】  学術雑誌1,352種【外国雑誌508種】  視聴覚資料39点	

4- (1) 既設大学等の状況

大学の名称	長崎大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学定学員	収容員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育学部									教育学部情報文化教育課程については、平成20年度から学生募集停止。
学校教育教員養成課程	4	240	—	780	学士(教育学)	1.09	平成10年度	長崎市文教町1番14号	
情報文化教育課程	4	—	—	180	〃	1.04	平成10年度	長崎市文教町1番14号	
経済学部総合経済学科	4	415	15	1,690	学士(経済学)	1.03	平成10年度	長崎市片淵4丁目2番1号	
医学部			2年次						
医学科	6	95	5	595	学士(医学)	1.00	昭和24年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
保健学科	4	106	14	452	学士(看護学) 学士(保健学)	1.00	平成14年度	長崎市坂本1丁目7番1号	
歯学部歯学科	6	50	5	320	学士(歯学)	1.00	昭和55年度	長崎市坂本1丁目7番1号	
薬学部									
薬学科	6	40	—	120	学士(薬学)	1.04	平成18年度	長崎市文教町1番14号	
薬科学科	4	40	—	200	学士(薬科学)	1.09	昭和61年度	長崎市文教町1番14号	
工学部									工学部の定員超過率については、平成18年度から学科を併合して入学選抜を実施しているため、各併合単位ごとの記載としている。
機械システム工学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.03	平成2年度	長崎市文教町1番14号	
電気電子工学科	4	80	—	320	〃	1.09	平成10年度	長崎市文教町1番14号	
情報システム工学科	4	50	—	200	〃		平成10年度	長崎市文教町1番14号	
構造工学科	4	40	—	160	〃	1.06	昭和42年度	長崎市文教町1番14号	
社会開発工学科	4	50	—	200	〃		平成3年度	長崎市文教町1番14号	
材料工学科	4	50	—	200	〃	1.04	昭和45年度	長崎市文教町1番14号	
応用化学科	4	50	—	200	〃		平成3年度	長崎市文教町1番14号	
各学科共通		—	10	20		—	—		
環境科学部環境科学科	4	140	10	580	学士(環境科学)	1.02	平成10年度	長崎市文教町1番14号	
水産学部水産学科	4	110	—	440	学士(水産学)	1.04	昭和48年度	長崎市文教町1番14号	



既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 定 容 員	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
( 研 究 科 )									
教育学研究科									教育学研究科学校教育専攻及び教科教育専攻については、平成20年度から学生募集停止。
( 修 士 課 程 )									
教科実践専攻	2	18	—	18	修士(教育学)	1.00	平成20年度	長崎市文教町1番14号	
学校教育専攻	2	—	—	6	修士(教育学)	1.83	平成6年度	長崎市文教町1番14号	
教科教育専攻	2	—	—	32	〃	1.00	平成6年度	長崎市文教町1番14号	
( 専 門 職 学 位 課 程 )									
教職実践専攻	2	20	—	20	教職修士(専門職)	1.20	平成20年度	長崎市文教町1番14号	
経済学研究科									
( 博 士 前 期 課 程 )									
経済経営政策専攻	2	15	—	30	修士(経済学). 修士(経営学)	0.83	平成16年度	長崎市片淵4丁目2番1号	
( 博 士 後 期 課 程 )									
経営意思決定専攻	3	3	—	9	博士(経営学)	0.66	平成16年度	長崎市片淵4丁目2番1号	
生産科学研究科									
( 博 士 前 期 課 程 )									
機械システム工学専攻	2	30	—	60	修士(学術). 修士(工学). 修士(水産学)	1.16	平成12年度	長崎市文教町1番14号	
電気情報工学専攻	2	52	—	104	〃	1.39	平成12年度	長崎市文教町1番14号	
環境システム工学専攻	2	36	—	72	〃	0.87	平成12年度	長崎市文教町1番14号	
物質工学専攻	2	38	—	76	〃	1.19	平成12年度	長崎市文教町1番14号	
水産学専攻	2	37	—	74	〃	1.02	平成12年度	長崎市文教町1番14号	
環境共生政策学専攻	2	8	—	16	修士(環境科学)	1.06	平成16年度	長崎市文教町1番14号	
環境保全設計学専攻	2	17	—	34	〃	1.34	平成16年度	長崎市文教町1番14号	
( 博 士 後 期 課 程 )									
システム科学専攻	3	11	—	33	博士(学術). 博士(工学). 博士(水産学). 博士(環境科学)	1.42	平成12年度	長崎市文教町1番14号	
海洋生産科学専攻	3	15	—	45	〃	0.93	平成13年度	長崎市文教町1番14号	
物質科学専攻	3	14	—	42	〃	0.35	平成13年度	長崎市文教町1番14号	
環境科学専攻	3	8	—	24	〃	1.20	平成16年度	長崎市文教町1番14号	

既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学定員	収容員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地
医歯薬学総合研究科 (修士課程)								
熱帯医学専攻	1	12	—	12	修士(熱帯医学)	0.91	平成18年度	長崎市坂本1丁目12番4号
保健学専攻	2	12	—	24	修士(看護学). 修士(理学療法学). 修士(作業療法学)	1.70	平成18年度	長崎市坂本1丁目7番1号
(博士課程)								
医療科学専攻	4	77	—	308	博士(学術). 博士(医学). 博士(歯学)	0.69	平成14年度	長崎市坂本1丁目12番4号
新興感染症病態制御 学系専攻	4	24	—	96	博士(学術). 博士(医学). 博士(歯学). 博士(薬学)	0.85	平成14年度	長崎市坂本1丁目12番4号
放射線医療科学専攻	4	11	—	44	〃	0.47	平成14年度	長崎市坂本1丁目12番4号
(博士前期課程)								
生命薬科学専攻	2	53	—	106	修士(薬学). 修士(臨床薬学)	1.13	平成14年度	長崎市文教町1番14号
(博士後期課程)								
生命薬科学専攻	3	18	—	64	博士(学術). 博士(薬学). 博士(臨床薬学)	0.68	平成14年度	長崎市文教町1番14号
国際健康開発研究科 (修士課程)								
国際健康開発専攻	2	10	—	10	修士(公衆衛生学)	1.10	平成20年度	長崎市坂本1丁目12番4号

#### 4- (2) 既存の教員養成分野における研究科等の状況

【教育学研究科教科実践専攻 (M)】

(単位:人)

区 分		平成19年度	平成20年度	備 考	
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度	—	3	平成20年度新設
		修学休業制度	—	0	
		勤務継続	—	0	
		その他	—	0	
		小計 (a)	—	3	
	学部新卒者 (b)	—	10		
	社会人学生 (c)	—	5		
	計 (d=a+b+c)	—	18		
	入学定員 (e)	—	18		
	定員超過率 (d/e)	—	1		

【教育学研究科学校教育専攻 (M)】

(単位:人)

区 分		平成19年度	平成20年度	備 考	
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度	5	—	平成20年度から学生募集停止
		修学休業制度	0	—	
		勤務継続	0	—	
		その他	0	—	
		小計 (a)	5	—	
	学部新卒者 (b)	5	—		
	社会人学生 (c)	1	—		
	計 (d=a+b+c)	11	—		
	入学定員 (e)	6	—		
	定員超過率 (d/e)	1.83	—		

## 【教育学研究科教科教育専攻（M）】

（単位：人）

区 分		平成19年度	平成20年度	備 考
入 学 者 数	現職教員			平成20年度から学生募集停止
	派遣制度	4	—	
	修学休業制度	0	—	
	勤務継続	0	—	
	その他	0	—	
	小計（a）	4	—	
	学部新卒者（b）	23	—	
	社会人学生（c）	5	—	
	計（d=a+b+c）	32	—	
	入学定員（e）	32	—	
	定員超過率（d/e）	1.00	—	

## 5 教員組織の概要

### (1) 教員組織・担当科目の状況

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任等の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任等の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	(以下省略)	平成20年4月	教育課程の編成・学習指導案作成実習Ⅰ 教育課程の編成・学習指導案作成実習Ⅱ 学校経営・学級経営実習Ⅰ 学校経営・学級経営実習Ⅱ 総合的な学習の編成と実践Ⅰ 総合的な学習の編成と実践Ⅱ 学校教育実践実習Ⅰ(学校) 学校教育実践実習Ⅱ(学校) 理科授業研究B 理科学習における評価と実践 教育に活かす「宇宙」 学校教育実践実習Ⅰ(理科) 学校教育実践実習Ⅱ(理科)						① (前)9 (後)17.6 ② (前)12 (後)17 (通年)8
専	教授		平成20年4月	教育課程の編成・学習指導案作成実習Ⅰ 教育課程の編成・学習指導案作成実習Ⅱ 児童生徒の理解と指導Ⅰ 児童生徒の理解と指導Ⅱ 生活指導・教育相談実習Ⅰ 生活指導・教育相談実習Ⅱ 複式学級の教育と実際 学校経営・学級経営実習Ⅰ 学校経営・学級経営実習Ⅱ 発達と学習の過程Ⅰ 発達と学習の過程Ⅱ 学校教育実践実習Ⅰ(子ども) 学校教育実践実習Ⅱ(子ども)						① (前)9 (後)9.6 ② (前)6 (後)6.4 (通年)6 (集中)30
専	教授		平成20年4月	カリキュラムの理論と実践Ⅰ 理科教育課程と指導計画 理科授業設計 学校教育実践実習Ⅰ(理科) 学校教育実践実習Ⅱ(理科)						① (前)7 (後)8 ② (前)10 (後)8 (通年)10

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任 等の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任 等の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業 科目名	
専	准教授		平成20年4月	教育課程の編成・学習 指導案作成実習Ⅰ 教育課程の編成・学習 指導案作成実習Ⅱ 生活指導・教育相談実 習Ⅰ 生活指導・教育相談実 習Ⅱ 学校経営・学級経営実 習Ⅰ 学校経営・学級経営実 習Ⅱ 英文法指導のための実 践研究Ⅱ 国際理解ワークショップ Ⅱ 学校教育実践実習Ⅰ (国際) 学校教育実践実習Ⅱ (国際)						① (前)2 (後)6.6 ② (前)6 (後)6 (通年)4
専	准教授		平成20年4月	教育課程の編成・学習 指導案作成実習Ⅰ 教育課程の編成・学習 指導案作成実習Ⅱ 生活指導・教育相談実 習Ⅰ 生活指導・教育相談実 習Ⅱ 教育の方法と評価Ⅰ 教育の方法と評価Ⅱ 学校経営・学級経営実 習Ⅰ 学校経営・学級経営実 習Ⅱ 授業研究の理論と実践 Ⅰ 授業研究の理論と実践 Ⅱ ICT活用実践Ⅰ ICT活用実践Ⅱ						① (前)5 (後)4.6 ② (前)8 (後)14 (通年)4
専・他	教授		平成20年4月	地域の特徴と教育の実 際Ⅰ 学級経営の理論と実際 Ⅰ 学校教育実践実習Ⅰ (学校) 学校教育実践実習Ⅱ (学校)						① (前)3 (後)8 ② (前)10 (後)10 (通年)6
専・他	教授		平成20年4月	学級集団づくり・ソー シャルスキル教育の指 導法Ⅰ 学級集団づくり・ソー シャルスキル教育の指 導法Ⅱ						① (前)0 (後)5 ② (前)8 (後)14.4 (通年)6 (集中)30

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任 等の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任 等の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業 科目名	
◎・他	教授		平成20年4月	特別支援教育の基礎理論 特別支援教育のシステム論 学校教育実践実習Ⅰ (こども) 学校教育実践実習Ⅱ (こども)						① (前)5 (後)8 ② (前)7.5 (後)10 (通年)4 (集中)30
◎・他	准教授		平成20年4月	特別支援教育の生理・ 病理学 肢体不自由児の理解と 支援						① (前)0 (後)2 (集中)30 ② (前)6.5 (後)4 (通年)8
◎・他	准教授		平成20年4月	特別支援教育の心理学 発達障害児の理解と支 援Ⅰ 特別支援アセスメント 事例研究(基礎実習・ 発展実習)						① (前)0 (後)2 (集中)45 ② (前)6.5 (後)6.4 (通年)4 (集中)60
◎・◎	教授		平成20年4月	学習指導要領と教育課 程Ⅰ 学習指導要領と教育課 程Ⅱ						① (前)4 (後)0 ② (前)6 (後)8 (通年)2
◎・◎	准教授		平成20年4月	カリキュラムの理論と 実践Ⅱ						① (前)2 (後)0
◎・◎	准教授		平成20年4月	教育課程の編成・学習 指導案作成実習Ⅰ 教育課程の編成・学習 指導案作成実習Ⅱ 生活指導・教育相談実 習Ⅰ 生活指導・教育相談実 習Ⅱ 学校経営・学級経営実 習Ⅰ 学校経営・学級経営実 習Ⅱ 発達障害児の理解と支 援Ⅱ 特別支援アセスメント 事例研究(基礎実習・ 発展実習) 特別支援教育の教育課 程・授業論 特別支援学校・学校経 営論 特別支援教育コーデ イナー論						① (前)2 (後)5.6 (集中)45 ② (前)0.5 (後)0
◎・◎	准教授		平成20年4月	教育相談の理論と実際 Ⅰ 教育相談の理論と実際 Ⅱ 学校カウンセリングの 実践法Ⅱ						① (前)4 (後)2 ② (前)0 (後)2.4

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任 等 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任 等 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業 科目名	
Ⓜ・み	講師		平成20年4月	教育課程の編成・学習指導案作成実習Ⅰ 教育課程の編成・学習指導案作成実習Ⅱ 生活指導・教育相談実習Ⅰ 生活指導・教育相談実習Ⅱ 学校経営・学級経営実習Ⅰ 学校経営・学級経営実習Ⅱ 教員の資質と職務Ⅰ 地域の特徴と教育の実際Ⅱ 教育評価の方法研究Ⅰ 学級経営の理論と実際Ⅱ						① (前)0 (後)6.6
Ⓜ・み	講師		平成20年4月	教育課程の編成・学習指導案作成実習Ⅰ 教育課程の編成・学習指導案作成実習Ⅱ 生活指導・教育相談実習Ⅰ 生活指導・教育相談実習Ⅱ 学校経営・学級経営実習Ⅰ 学校経営・学級経営実習Ⅱ 教員の資質と職務Ⅰ 人権教育の理論と実際Ⅰ 人権教育の理論と実際Ⅱ						① (前)0 (後)4.6
Ⓜ・み	講師		平成20年4月	教育課程の編成・学習指導案作成実習Ⅰ 教育課程の編成・学習指導案作成実習Ⅱ 教科の指導と評価Ⅰ 教科の指導と評価Ⅱ 生活指導・教育相談実習Ⅰ 生活指導・教育相談実習Ⅱ 学校経営・学級経営実習Ⅰ 学校経営・学級経営実習Ⅱ 教員の資質と職務Ⅱ 教育評価の方法研究Ⅱ 英語科教育論 学校教育実践実習Ⅰ(国際) 学校教育実践実習Ⅱ(国際)						① (前)2 (後)12.6
兼任	教授		平成20年4月	授業のための英語文化理解Ⅱ 英語実践力を向上させるための読解方法Ⅱ						



認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任 等の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任 等の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業 科目名	
兼任	教授		平成20年4月	生徒指導・キャリア教育の方法Ⅰ 生徒指導・キャリア教育の方法Ⅱ						
兼任	教授		平成20年4月	学校カウンセリングの実践法Ⅰ 発達と学習の過程Ⅰ 発達と学習の過程Ⅱ	実・専	准教授	(以下省略)	平成20年10月	学校カウンセリングの実践法Ⅰ	病気療養中のため、専任教員を追加② 平成20年8月 変更書提出予定
兼任	教授		平成20年4月	学校カウンセリングの実践法Ⅰ 発達と学習の過程Ⅰ 発達と学習の過程Ⅱ	専	教授		平成20年10月	発達と学習の過程Ⅰ	病気療養中のため、専任教員1人で担当② 平成19年8月教員審査済
兼任	教授		平成20年4月	理科教材開発A 科学技術研究B	専・他	教授		平成20年10月	発達と学習の過程Ⅱ	病気療養中のため、専任教員を追加② 平成20年8月 変更書提出予定
兼任	教授		平成20年4月	理科教材開発B 自然環境研究B						
兼任	教授		平成20年4月	理科授業研究A 理科指導法研究						
兼任	教授		平成20年4月	理科教材開発B 自然環境研究A						
兼任	教授		平成20年4月	道徳教育の理論と実際Ⅱ						
兼任	教授		平成20年4月	理科教材開発A 科学技術研究A						
兼任	教授		平成20年4月	授業のための英語文化理解Ⅰ 英語実践力を向上させるための読解方法Ⅰ						
兼任	教授		平成20年4月	健康教育の理論と実践Ⅰ 健康教育の理論と実践Ⅱ						
兼任	教授		平成20年4月	複式学級の教育と実際						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任等の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任等の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授		平成20年4月	幼小をつなぐカリキュラム開発と実践Ⅰ 幼小をつなぐカリキュラム開発と実践Ⅱ						
兼任	教授		平成20年4月	情報教育の研究と実践Ⅰ ICT活用実践Ⅰ ICT活用実践Ⅱ						
兼任	教授		平成20年4月	学校の経営の実際 学校の危機管理						
兼任	教授		平成20年4月	英語科教育の実践と課題Ⅰ 英語科教育の実践と課題Ⅱ 英語学力評価の理論と方法・技術						
兼任	教授		平成20年4月	総合的な学習の編成と実践Ⅰ 総合的な学習の編成と実践Ⅱ						
兼任	准教授		平成20年4月	英語教育教材の分析と開発Ⅰ 英語教育教材の分析と開発Ⅱ						
兼任	准教授		平成20年4月	コミュニケーション・ランゲージ・ティーチングの基本と実践Ⅰ コミュニケーション・ランゲージ・ティーチングの基本と実践Ⅱ						
兼任	准教授		平成20年4月	理科教材開発A 科学技術研究B	兼任	教授		平成20年4月	理科教材開発A 科学技術研究B	平成20年4月1日付で昇任したため㊟
兼任	准教授		平成20年4月	ICT活用実践応用	兼任	教授		平成20年4月	ICT活用実践応用	平成20年4月1日付で昇任したため㊟
兼任	准教授		平成20年4月	道徳教育の理論と実際						
兼任	准教授		平成20年4月	情報教育の研究と実践Ⅱ 情報科学研究 インターネット技術研究						
兼任	准教授		平成20年4月	理科教材開発B 自然環境研究B						

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任 等の別	職名	氏 名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任 等の別	職名	氏 名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業 科目名	
兼任	講師		平成20年4月	病弱児の理解と支援						
兼任	講師		平成20年4月	国際理解ワークショップI	兼任	講師		平成20年4月	国際理解ワークショップI	他大学へ転出のため⑩
兼任	講師		平成20年4月	教育に活かす「宇宙」						
兼任	講師		平成20年4月	アカデミック・ライティング・スキルの実践						
兼任	講師		平成20年4月	認知情報科学研究						
兼任	講師		平成20年4月	教育情報処理研究						
兼任	講師		平成20年4月	重度重複障害児の理解と支援						
兼任	講師		平成20年4月	英文法指導のための実践研究I						

(2) 科目別教員数一覧

区分	職名	科目分類								合計	備考
		共通科目						分野別 科目	実習科目		
		①領域	②領域	③領域	④領域	⑤領域	小計				
専	教授	( )	( )	( 1 )	( 1 )	( )	( 1 )	( 3 )	( 3 )	( 3 )	
	准教授	( )	( )	( )	( 1 )	( )	( 1 )	( 2 )	( 2 )	( 2 )	
	講師	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	助教	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
専・他	教授	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( 3 )	( 2 )	( 3 )	
	准教授	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( 2 )	( 1 )	( 2 )	
	講師	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	助教	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
実・専	教授	( 1 )	( )	( )	( )	( )	( 1 )	( )	( )	( 1 )	
	准教授	( )	( )	( 1 )	( )	( )	( 1 )	( 3 )	( 1 )	( 3 )	
	講師	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	助教	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
実・み	教授	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	准教授	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	講師	( )	( 1 )	( )	( )	( 3 )	( 3 )	( 3 )	( 3 )	( 3 )	
	助教	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
兼任	教授	( )	( )	( )	( 3 )	( )	( 3 )	( 15 )	( )	( 17 )	兼任教員2名が准教授から教授へ昇任したため
	准教授	( )	( )	( )	( 1 )	( )	( 1 )	( 7 )	( )	( 7 )	
	講師	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	助教	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
兼任	教授	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	准教授	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	講師	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( 8 )	( )	( 8 )	
	助教	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
合計	教授	( 1 )	( )	( 1 )	( 4 )	( )	( 5 )	( 18 )	( 5 )	( 24 )	
	准教授	( )	( )	( 1 )	( 2 )	( )	( 3 )	( 14 )	( 4 )	( 14 )	
	講師	( )	( 1 )	( )	( )	( 3 )	( 3 )	( 11 )	( 3 )	( 11 )	
	助教	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退等含む）等の理由
1			
2			
3			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認 可 時</p> <p>(平成19年12月3日)</p>	<p>・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的、さらに理論と実践を融合して専ら小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び幼稚園の高度の専門的な能力及び優れた資質を有する教員の養成のための教育を実施するという教職大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>教職大学院制度を活用した本学教育学研究科教職実践専攻の設置の趣旨・目的を十分に果たすためにも、従来から実施しているFDをさらに充実させ、事例研究、ロールプレイング、ワークショップなどを取り入れた講義と演習を統合した授業を実施するスキルの向上を目指している。また、実務家教員の大学教育についての理解を深めるFD、大学教員の学校現場についての理解を深めるFDを実施する。さらに、このFDを充実させるため、各校種別の学校における大学教員、実務家教員と現場の教員との共同研究や研修を実施し、これらによって教職大学院の水準を一層向上させる。⑳</p>	

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認 可 時</p> <p>(平成19年12月3日)</p>	<p>・実習により修得する単位の免除の評価を「レポート」で行うとしているが、教職経験を適切に評価することができる内容とするとともに、免除の基準・判定方法及び判定する組織体制を明確に定め、厳正に評価すること。また、教職経験が10年に満たない場合も「免除することがある」としているが、その条件を明確にし、安易に免除を行うことがないようにすること。なお、評価にあたっては、所属長や任命権者が評価する資料を活用するなど、客観性が担保されるよう配慮すること。</p>	<p>平成19年度に長崎県教育委員会及び長崎市教育委員会と実習の免除に関する基準等について協議した。免除基準としては、10年以上の教職経験のある者については、下記条件のうち一つを充たす者、10年以下の教職経験者については下記条件のうち複数の条件を満たす者を対象として判定を行った。</p> <p>「教育課程の編成・学習指導案作成実習Ⅱ」(2単位)</p> <p>①研究主任又は教務の主たる担当を1年以上経験している者</p> <p>②教育課程の編成・学習指導案の作成に関する実践研究業績を有する者、又は、指導的地位にあった者</p> <p>「生徒指導・教育相談実習Ⅱ」(2単位)</p> <p>①生徒指導の主たる担当を3年以上経験している者</p> <p>②教育相談担当者として1年以上従事している者</p> <p>③生徒指導・教育相談に関する実践研究等の業績を有する者、又は、指導的地位にあった者</p> <p>「学級経営・学校経営実習Ⅱ」(2単位)</p> <p>①学級担任を5年以上経験している者</p> <p>②学級経営・学年経営に関する実践研究等の業績を有する者、又は、指導的地位にあった者</p> <p>なお、実習免除判定に当たっては、申請者に所属長の推薦書、教職経験証明書(勤務校と担当職務名を記入)、研究業績書、免除を希望する実習に関する実践経験についてのレポートの提出を求め、長崎県教育委員会選出の判定委員(長崎県教育庁義務教育課長)1名、長崎市教育委員会選出の委員(長崎市教育委員会学校教育課長)1名の外部委員計2名と教育学研究科選出の委員8名で構成する判定委員会で厳正に判定を行った。⑳</p>	

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認 可 時</p> <p>(平成19年12月3日)</p>	<p>・現職教員学生の現勤務校での実習において、時間で区別するという方法だけではなく、レポート作成等、きめ細かな指導を組み合わせて日常の業務に埋没しないよう配慮すること。</p>	<p>履修免除を受けることのできる現職教員学生が実習を行う際には、原則として、現勤務校ではなく、連携協力校において実施することとしている。なお、今年度は、現勤務校で実習を行う現職教員学生はいない。</p> <p>ただし、現職教員学生が現在勤務している学校で実習を行う場合は、予めテーマに沿った実習計画を作成し、学校管理者と大学の指導教員とが協議して、例えば、午前中は院生として実習に専念させ、午後の時間は教員として校務に従事させるなど、実習と校務を厳密に区分し、実習を確実に実施する。</p> <p>また、実習指導を行う大学の指導教員が連携協力校等に赴き、指導を補助する非常勤講師と共にきめ細かな実習を実施する。日常の業務に埋没しないように、本研究科がすでに活用しているWeb上での日誌、レポートの提出と、それに対する指導教員のWeb上での指導を徹底して行う。</p> <p>⑳</p>	
<p>設置計画履行状況 調 査 時</p> <p>(平成20年4月1日)</p>			



## 7 情報提供に関する事項

### ① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成20年6月1日公表予定 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
([http://www.nagasaki-u.ac.jp/open/houtei\\_main.html](http://www.nagasaki-u.ac.jp/open/houtei_main.html))

### ② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成20年6月1日公表予定 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
([http://www.nagasaki-u.ac.jp/open/houtei\\_main.html](http://www.nagasaki-u.ac.jp/open/houtei_main.html))